



たか子のあつたか通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email：takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122（共産党）

学校給食の無料化を！



無料化をめざす「みんなの会」記者会見



駅前で宣伝と署名活動を行いました。「家計が助かります」という親子連れや高校生が署名に応じてくれました。足を停めて訴えを聞いてくれる方も多く、市民の期待の大きさを感じました。

新年

おめでとーいございます

金権腐敗政治が大事件となった昨年末でした。巨額の献金が政策をゆがめ、国民に負担増を強いながら大企業優遇の政治が続いています。今年こそ本気の野党共闘で、命と暮らし・平和を大切に
する新しい政治を実現しましょう。

元旦の夕刻に能登半島で地震があり、松本市内も大きく揺れて緊張が走りました。被害の大きさや過酷な避難所の状況に胸が痛みます。一刻も早い救命と復旧のために国の支援を届けてほしい！災害はいつ来るか分かりません。行政にも防災減災の備えを一層求めなければと強く思う新年となりました。

また、この地震で志賀原発は冷却機能が停止し、油漏れを起したと報道されました。「地震国に原発はいらない」と声をあげていきたいです。

世界に目を向けると、ウクライナ戦争やガザ地区への攻撃が終わらず、尊い命が奪われていることに本当に胸が痛みます。一刻も早い停戦を望みます。我が国の軍備増強への転換にも注意を向けなければなりません。

「税金は軍備でなく暮らしに」と今年も皆さんと一緒に声をあげていきたいと思えます。本年もよろしくお願い致します。

塩原たか子

12月議会



一般質問

子育て支援充実願う声を届けて

未満児保育の無償化を

質問 塩尻市は第2子から無償化するとしている。松本市の考えは？

答弁 財源確保と保育士人材確保が課題。人口定住化を進めるには必要な施策と考える。



不登校支援の居場所へ財政支援を 子ども達の声を聞いて

質問 不登校児童が昨年度は680人と右肩上がり。抜本的な対策を求める。「多様な学びプロジェクト」では子ども達の実態やニーズを調査するインターネットアンケートを実施している。子ども達の「本当に気持ち」を聞くべき。



▽「松本市の豊かな環境を守り適正な太陽光発電事業を推進する条例」
野立てのパネルについてこれまで1000mを超える場合は「届け出のみ」で設置可能でしたが、全てが「許可制」へ。さらに、禁止区域と抑制区域が松本市の9割を占める為、規制の強いものになります。地域住民には必ず説明会を実施し、協議を行うこととなります。最終的には市が責任を負うこととなります。

▽「ガザの戦闘停止」を求める決議
▽「保育士の配置基準の改善」を求める意見書
(以上は全会一致)

意見書 採択



待機児童ゼロへ 保育士採用時期、処遇改善で増員を

質問 待機児童が22年度4人、23年度5人。潜在的待機児童は49人、途中入所できなかった未満児134人。待機児童の解消の課題は何か？



過労死ライン超えは深刻 教員の働き方改善へ

質問 23年7月の80時間超え時間外労働職員は小学校で36人、中学校で39人で深刻な実態。改善対策は？

答弁 市教員の増員や教育業務支援員を市費で配置している。



未満児保育室増設を

質問 未満児保育室の増設は島内と波田のみ。他は民間の小規模保育事業所7か所に委託。園庭がなくてもよい基準だが、近くの公立保育園との交流や園庭の利用が出来ないか？

答弁 公立保育園と連携協定を結んで、園庭の利用や3歳以上児との交流保育が出来るようになっている。

市長に問う 公約の「子育て支援」は前進しましたか？

一般質問で子育て支援について市民の声を届けました。臥雲市長は「若者の経済的な負担を軽減していきたい」と答弁しましたが、この4年間で前進したのでしょうか。子育て支援を公約の一丁目一番地というなら市民の要望を具体化することが大事ではないでしょうか。
(塩原孝子)

継続審議

▼市役所建設構想は継続審議
市長の分散化市役所構想は、本庁舎をスリム化して跡地を公共機関にすることは変わらず。職員が分散されてチーム力が弱体化する懸念があります。庁舎の床面積も不明。南松本は保健所のみ設置としていますが、他の健康づくり部門がどこまで入るのか不明。引き続き審議をしていきます。